



獨協医科大学越谷病院小児外科のあゆみ

2010 年



獨協医科大学越谷病院小児外科

## 目次

巻頭言：盤石に築いた楼閣は？	1
I 教室人事	2
II 教室員のひとこと	3
III 診療の集計	
1. 外来および入院	9
2. 手術	10
IV 研究業績	
1. 論文発表	11
2. 学会・研究会への参加	11
3. 研究助成等	15
4. 受賞	15
5. 学位	16
V 教育関連の活動	
1. 学生実習	16
2. 卒後臨床研修	16
3. 講演・講義	16
4. セミナーの開催	16
5. 小児外科・病理カンファレンス	17
6. 抄読会	17
7. リサーチ・ミーティング	17
VI その他	18
付. 第15回 日本小児ストーマ・排泄管理セミナー 開催要項	
第37回 日本小児内視鏡研究会プログラム・抄録集	
編集後記	

\* 表紙は8月の富士山頂から望む雲海

## 巻頭言：盤石に築いた楼閣は？

獨協医科大学越谷病院

小児外科教授 池田 均



2010年は私の出身母体である群馬大学小児外科グループに大きな出来事が相次いでありました。2月、恩師である松山四郎先生が亡くなりました。松山先生は群馬の小児外科医療を築かれ、日本の小児外科興隆期に多大な貢献をされたことは多くの方々をご存知のとおりです。私も先生の講義を聴いて小児外科医をこころざし、また先生の手術や一言一語、一挙一動に魅了された一人です。心よりご冥福を祈ります。

9月には黒岩 実先生が群馬県立小児医療センターから東邦大学医療センター大森病院の小児外科教授に就任されました。黒岩先生は私の一年先輩で、群馬に勤務の際にはいろいろとご指導いただき、現在でも公私にわたりお世話になっております。一足先に同様の立場について身として、先生には心よりのお祝いと声援をお送りいたします。

言うまでもなくまた好むと好まざるとにかかわらず、人は人に導かれ、人を導くものです。黒岩先生も私も導かれた恩師を失い、気づいてみればともに人を導く立場にあります。私の立場はその主な役割が卒後教育にありますが、赴任以来、実感は多くの若い先生方とともに仕事をしてきたということにすぎず、決して指導や教育と構えてきたわけではありません。教授然ではなくむしろ一人の医療者として接してきたわけで、それが10年を越えてこの仕事を続けることができた大きな理由と考えます。しかしそのためか至らぬ点多々あり、その意味では教授の適性欠如と指摘されかねないのかもしれないかもしれません。ただ私が私の立場で医療や学問を全うすること、それ自体がまさに若手教育と同義と考えていますので、多少、大仰ではありますが上に立つものとして通すべき筋は人一倍、意識しており、軽視し得ぬものと認識しております。

さて、現実の世となると筋の通らない話が尽きないのは皆さまのご承知のとおりです。卑近な例ですが、政治家のご都合主義は痛々しいばかりですし、学問や研究の世界の不正などは情けないかぎりです。世の中、多少の処世や融通も必要でしょうが、筋を通さずに得たものはまさに砂上の楼閣にも等しいものです。

2010年の当科のあゆみに盤石に築いた楼閣は窺えるのでしょうか。否、まだまだ基礎をならした程度に過ぎません。ご批判は容易に想像できますし、謙虚にお受けしたいとも思います。どうぞ閑暇にご照覧いただければ幸いです。

## I 教室人事

2010年4月1日より、畑中政博君が群馬県立小児医療センター外科から本学へ復帰した。同時に五十嵐昭宏君が後期研修を目的に大学（栃木）小児科から当科へ異動となった。したがって当科は池田、石丸、田原、藤野、鈴木、畑中、五十嵐の7名体制となった。

非常勤講師はこれまでどおり、群馬県立小児医療センター形成外科部長浜島昭人先生と社会保険船橋中央病院形成外科部長蓮見俊彰先生に形成外科の外来診療、手術、教育を担当していただいた。さらに群馬県立小児医療センター外科部長黒岩 実先生（9月より東邦大学医療センター大森病院小児医療センター小児外科教授に就任）には引き続き非常勤講師として鏡視下手術の教育を担当していただいた。



2011年3月、病院前



2010年6月、名古屋の学会時  
長良川温泉に宿泊  
(岐阜駅、黄金の織田信長像の前で)

## II 教室員のひとこと

### 「NHKの番組を見て思ったこと」

石丸由紀

先日、NHK 教育のとあるドキュメンタリー番組※に医学生が出演していました。このドキュメンタリーは出演者がそれぞれ自分の問題を提示し、それについて別の出演者や視聴者からネットで意見をもらうというタイプの番組です。その医学生の出したテーマは、電車や飛行機で「お医者様はいらっしゃいませんか」という呼び出しがあったときに手を挙げない医師をどう思うか、というもの。

このテーマに関する視聴者の反応はおおむね2つに分かれていました。1つはドクターコールに応えない医師を擁護するもの、もう一つは非難するもの。擁護する理由としては、普段の診療時間ではないので承応する義務はない、助からなかったり判断が間違っていたりした場合に訴訟に発展することがあるし、訴訟になったら社会的地位を失う、器機がないので十分な診察ができない、医師の専門性が高くなっているので専門外のことは何もできない、など。非難する理由は、人の命を助けるのが医者役目ではないのか、出て行かないなら医師をやる資格はない、何もできなくてもいて欲しい、など。

この2つの相対する意見は、擁護する意見は医療者側、非難するのは患者側から出たコメントとも見えます。この構図は現在の医療崩壊の状況をよく反映しています。そして、非難側のコメントは患者が医師や医療体制がどうあるべきだと考えているかも表しています。つまり、何かあったらすぐ対応してくれて、どんな状況でも助けてくれるのが当然だということです。日本には「善きサマリア人の法」がありません。また、偶然居合わせた医師が傷病者を診察した場合、応召義務が発生したとみなされ、何かあった場合に責任を問われる可能性もあります。実際に訴訟に至ったケースもあり、アンケートではドクターコールがあっても名乗りでないという医師が多いとのこと。

医療過誤は確かに存在し、医療者の怠慢やミスで起こるものも少なからずあります。しかし、最善だと判断して治療を行ったにもかかわらず患者を助けられなかった場合にも罪に問われることがあることは、医師だけでなく医学生も知っています。この状況で医学生が卒後にリスクが高くて多忙な診療科を選択するのでしょうか。そして患者の家族は医師の努力を正当に評価してくれるのでしょうか。こういった場合に医師を守ってくれるものがないと、医師も安心してドクターコールに手を挙げられなんでしょうし、産科や外科の医師も減少していく一方でしょう。「善きサマリア人の法」が日本でも早急に制定されることを望みます。

※ 青春リアル <http://www.nhk.or.jp/ss-real/> (該当トピックは第6期にあります)

## 「旧き友」

田原和典

外に向かって自分をアピールする。フットワークの重い自分にとって一大事業である。極めて保守的で何事にも出不精な自分には、外への最初の一步というのは非常に重たいものである。誰かが背中を押してくれない限り、一気に駆け出せないのがこれまでの自分であり、そしてこれまではいつも誰かが押してくれた。この年になると押してくれる誰かもいなくなり、いい加減自分で飛び出せよともう一人の自分が嘆いている。

先日小学校の同級生たちと久しぶりに会った。中には中学生以来 30 年ぶりの再会となる友人もいた。久しく会ってないため少々不安があったが、そこはかつての遊び仲間、お酒が入るにつれ皆口が軽くなり、小学校時代の回顧合戦が始まった。職業はみなバラバラでそれぞれの環境こそ違え、共通の思い出話に花が咲く。自分の知らない専門話や社会問題、キリなく話がすすむ。新たな情報ネットワークが稼働した楽しさに時間の経過も忘れ、気づいたら話の途中でお開きの時間となった。旧き良き友との新たな第一歩、友との繋がりは良いものだと再確認したが、やはり皆同様 30 年という空白を埋めるにはまだまだ物足りない。お互いの連絡先を教え合い、これからはもっと会おうぞと久しぶりの同窓会は終わった。今まで存在していたが閉じられていた扉すなわち旧友との繋がりが再開した忘れられない夜であった。

人との繋がりとといえば、SNS(social networking service)という インターネット上で個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するサービスが話題である。中でも facebook は世界最大の SNS で、ユーザー数が全世界で 6 億人以上を越えているそうで、これこそ自分をアピールする格好の場ではないかと膝を打った。しかし安易に facebook に飛びつけない問題がある。SNS は実名性サービスなのだ。既に情報収集として Twitter は始めていたが、あくまで Twitter は匿名性のものであり、その匿名性という安全地帯で姑息に楽しんでいた私には実名性の facebook はハードルが高い。日本人はこの実名性に弱いらしく、悲しい哉私もその DNA を持っているようで、facebook に飛び込むためには、この高いハードルを越える勇気が必要なのだ。

飛び越える勇気が持てないまま、鬱々とした毎日を送っていた私に、つい最近一通のメールが送られてきた。「旧友からの facebook への招待状」であった。さあ来いよと、背中を押してくれているのはあの旧友であった。旧い繋がりが新しい繋がりへ導いてくれているのだ。もう行くしかない、高いハードルを越える時が来たのだ。ええい、ままよ！・・・  
“Click!”

さて、友よ・・・まずは話の続きから始めようか。

## 「認めたくない確率」

藤野順子

私の独断と偏見によるところ、組織に属して働く人々は、大まかに言って 3 グループに分けられる。まずは、上になれる人たち A 群：総理大臣、社長、教授、校長などなど。このグループの人たちはただ運がよくてエラくなったわけではない。絶対的に頭がよくて圧倒的に積極的で才能がある。ごく稀に親がお金持だったとか、自分自身の才能でない賜物によりエラくなれてしまったなんて人がいるが、A 群に入りたくて頑張っても、凡人では無理である。才能は先天的であると同時に後天的な環境によって左右されるものといわれる。その環境を自分の意思で変えられるようになるまでに生まれてから 10 年以上かかるわけで、その間は親など保育者に影響され続けるのである。したがって、親を選べない子どもの後天的な才能は親が与える環境であり、実は先天的に決まっているのである。というところまで来て、私は次のグループの範疇に入るのだと納得する。

次のグループは B 群：あくせく働くだけの人々。真面目とかそういった意味ではない。多くの人はこちらに入る。目の前にあることをこなし、少し頭を使ったりもするが、キレのない人たち。自分の凡人ぶりを認めたくないが深層ではわかっている、日々過ごす。大きく不満もなければ大きな野望もない。貧乏性なので怠けていられず、何となく働き続けている。こうした人たちに支えられて組織は成り立つのである。

そして最後は C 群：能力の有無にかかわらず、何としても働かないように意識的あるいは無意識に努力する人々。この人たちの怠ける才能もまた非凡である。某大手出版社の友人が、仕事をしないで会社に残るすべを知っている人が社内にたくさんいると言っていた。『固い本ばかり出版している会社なのにー？』と、返答したのを覚えている。

あーやっぱり A、C 群に入る才能のない貧乏性で凡人の私は毎日ちまちま働くのが一番と思うのであった。私が B 群に含まれる確率  $p < 0.01$ 。



## 『自炊』のすゝめ」

鈴木 信

いまや検索サイトで『自炊』を検索すると、自ら炊事を行なう意味での『自炊』よりも先に、電子 BOOK リーダーやパソコンの利用者自らが業者に頼まず紙媒体である書籍や雑誌をまるごと裁断機で切断しスキャナーを使って PDF 等の電子データに変換する行為を示す『自炊』に関する項目が検索される。これは昨年 Kindle や iPad 等のタブレット型の電子 BOOK リーダー登場で急速に注目をうけている言葉である。

この『自炊』、自分の好みの書籍を電子化でき、場合により本棚全ての書籍を電子デバイスひとつの中にまとめ、携帯できることが最大のメリットで、取りこんだ書籍に OCR 処理をかけることで、全文検索ができるようになることも更なるメリットである。

今回、この『自炊』という言葉に辿り着いたのは、4 月渡航予定の海外留学が起因である。長期の留学ではないため可能な限り荷物を減らし、移動を楽にしたい一心で考えた末に、必要な本やら雑誌などは可能な限り電子化すれば解決出来るだろうという結論に達し、紙媒体電子化のために最適なドキュメントスキャナを探しているうちにこの『自炊』という言葉に出会った。

『自炊』には 3 種ならぬ 2 種の神器、裁断機とドキュメントスキャナが必要となる。現在は代行業者もいくつかあるが、自炊用に最適な 2 種の神器を少々投資、購入し私は自炊生活を始めた。

書籍を電子化し iPad などの電子 BOOK リーダーで読むようになると、従来の本というフォーマットの不便さに気づかされるようになる。勿論、紙媒体なりのメリットを有していることを否定はしないが、かさばり、重く、劣化し、常時携帯できる数に限りがあり、そして検索ができないといった、デメリットが目立ってしまう。本という物に対する考え方で意見が真っ向に対立するところであろうが、我々が多く目にする専門書に関して言えば、デジタル化の優位性は揺るぎないであろうと思う。

『自炊』を始めて約半年、ハードカバーの洋書を残して、必要な全ての紙媒体をデジタル化し、iPad へ転送、常に本棚を持ち歩くことが出来る環境が整っている。また、電子書籍市場も活発になり、多くの出版物が電子媒体を供給するようになっている。携帯電話の出現で世界中どこにいても連絡が可能になったのと同じように、電子化のおかげで私は今、世界中どこに行っても同じ書齋環境を手に入れられる。こんな生活素晴らしいとは思いませんか？それとも・・・。



## 「痘痕も笑窪」

畑中政博

つい先日、我が家に家族が増えた。小さなメスの子犬である。私は10代の頃より実家では柴犬を飼っており、寝食を共にするほどかわいがっていた。犬や猫は全般的に好きなのであるが、どうしても好きになれない種類があった。ブルドックやパグなど、私の中ではブサイク犬と勝手に命名しているカテゴリーである。つぶれた鼻・しわくちゃな顔・ずんぐりむっくりな体型…飼っている方々は皆これがカワイイのだと言われるのだが、どこがいいのか私にはその良さを全く理解できなかった。今、私は理解できなかったと過去形で書いているが、私のなかの理解できなかったブサイク犬をカワイイと思える感覚を教えてくれたのはこの小さな子犬なのである。そう、我が家にやってきた新たな家族とはパグなのである。

当初、妻が犬を飼いたいと言い出したのは半年程前になるが、今思えばこの時から私に対する洗脳作戦が始まっていたのだろう。パグがほしいとは直接言わず、パグってかわいよねえと遠巻きにパグがお気に入りであることをアピールすることから始まり、さりげなくパグ専門誌を本棚の中に数冊紛れ込ませ、私が発見するまで黙って見ていたのである。私もあえて知らない振りをして対抗したのだが、1か月に2、3冊のペースで本が増え、トイレのカレンダーまでパグとなればさすがの私もパグの話題を出してしまう。しかし、この時点で私の負けは確定であった。すでに2人の子供たちは犬といえばパグと答える始末であり、お目当ての子犬の写真を携帯に送りつけた翌日にはリサーチ済みのペットショップへと連れて行かされた。店員とはもうすでに顔なじみであり夫がうんと言えばその場は丸く収まるような状況ともなれば飼うしかないのである。

初めてパグと対面した感想は…ブサイクだなあ…。昔映画で見たE.Tにそっくりだなあ。飼って3日後の感想は…カワイいなあ…。E.Tより断然カワイイ！！ウフフフ…。

痘痕も笑窪とはよくいったものである。



## 「名前あれこれ」

五十嵐昭宏

「山田さん、山田はてなさん、診察室へどうぞ。」(外来看護師の声が響く)

(診察室に、スーツに身をかためた一人の男性が入ってくる)

「こんにちは、山田さんですね。山田……?? (僕の開いた目はまばたきを忘れている)」  
カルテを見て、「ハテ、な?」と言葉を失った。カルテの名前の欄にはこう書いてあった。

「氏名：山田不思議」 (※以上、名字は仮名である)

僕の頭の中が「?」マークだらけであった。率直に、「(本当かい!)」とってしまった。  
その男性の名前は「不思議」と書いて「はてな」と読む。感無量である。

最近、こどもの患者さんの名前がすぐに読めないことが多い。「紅葉」を「かえで」ちゃんは可愛いらしいかな。「青葉」が「りいふ」、「巫々人」が「あーと」だと聞けば、驚きと関心の日々である。「凱旭 (がいあ)」君には夜明けが来そうである。「輝宙 (ぴかちゅう)」さんには脱帽するしかない。

物の名前というのも非常に興味深い。最近、ジェネリック医薬品が次々と登場してきているが、当院では、「ドルミカム」は「ミダゾラム (一般名：ミダゾラム)」、「ダラシン」は「クリダマシン (一般名：クリンダマイシン)」に変更された。面白いことに、より一般名に近づきつつあるようにも見える。僕のようにまだ駆け出しの医療者にとっては覚えやすいことこの上ないのではあるが…。

街を歩いてみても目を引く名前はありふれている。千葉にあるのに「東京ディズニーランド」。牛丼が 900 円する「安い食堂 (安井さんが経営)」。僕らの診療科名である、「小児外科」。小児科に「外」をつけたら手術をさせてもらえるようになった。ちょっと前に話題になった筆談ホステスの言葉。「辛」はもう少しで「幸」になりそうである。「難」がないのは無難な人生、でも、「難」があるほど有難い人生。なるほどなと思う。(話がそれました。) 世の中色々な名前があるが、その陰には名付けをした人がいて、どんな不思議と思う名前であってもそれぞれに大切な想いが込められている。命名。まさに命が吹き込まれる。

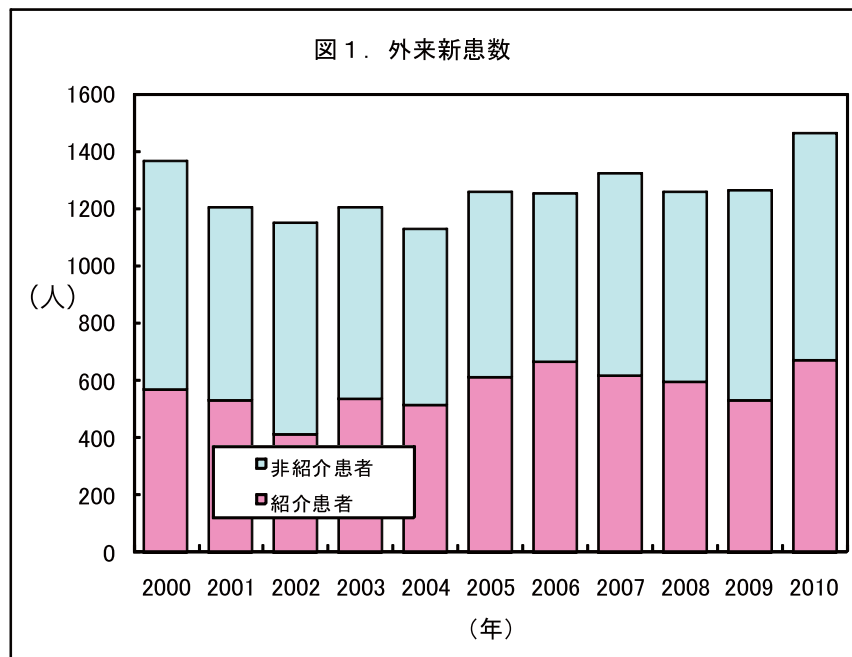
ある家庭の事情で期限の 14 日を過ぎても出生届けが提出されず、ずっと名前のない子がいた。こんな悲しいことはない。行政の介入もあり、その後遅ればせながら名を授かり、社会の中の 1 人としてスタートを切っていた。

さて先日、我が家に初めての男の子が誕生した。「恒成 (こうせい)」と名を付けた。決して、今から更生を望むということではない。「恒星」のように自ら輝きを放ち他を照らしてほしいというのが意味の 1 つではあるのだが、はてさて、この名前とともにどんな人生を歩んでいくのだろうか。

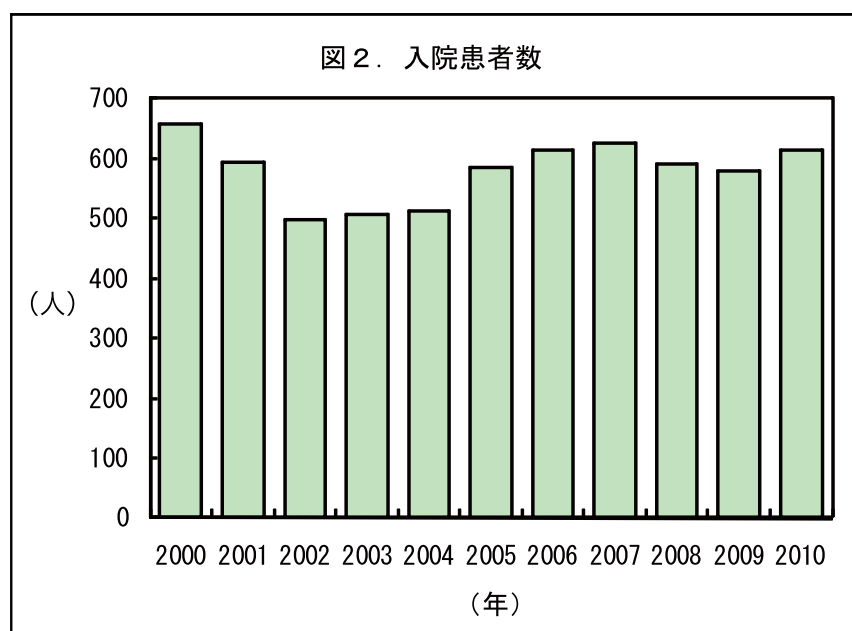
### Ⅲ 診療の集計

#### 1. 外来および入院

2010年の外来延べ患者数は6,231名、うち新患者数は1,463名でその紹介率は45.9%であった(図1)。

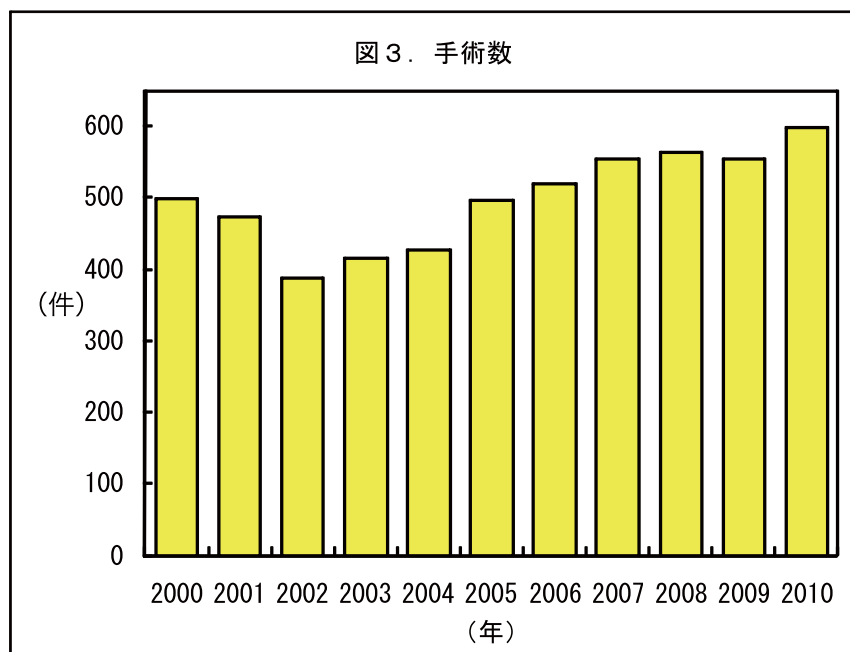


また、2010年の入院患者数は615名、うち新生児入院数9名であった(図2)。



## 2. 手術

2010年の手術数（内視鏡検査を含む）は599件、うち新生児手術数（内視鏡検査は含まない）は11件であった（図3）。



## IV 研究業績

### 1. 論文発表

#### 「原著・総説・症例報告・その他」

- 1) 石丸由紀、藤野順子、鈴木 信、田原和典、池田 均：胃瘻チューブ管理とヒヤリハット. 小児外科 42:49-52, 2010
- 2) 黒岩 実、西 明、山本英輝、大竹紗弥香、畑中政博、鈴木則夫：経静脈栄養離脱後4年でビタミンB12欠乏性巨赤芽球性貧血を発症した短小腸の1例. 日小外会誌 46:857-861, 2010
- 3) 池田 均：日本における小児がん登録の現状と将来：日本小児がん学会小児がん全数把握登録事業について. 日児誌 114:1497-1505, 2010
- 4) 藤野順子、田原和典、石丸由紀、鈴木 信、畑中政博、五十嵐昭宏、池田 均：志賀毒素産生性大腸菌0157による溶血性尿毒症症候群の治癒後に発症した結腸狭窄の1例. 日小外会誌 46:1147-1150, 2010
- 5) 鈴木 信、石丸由紀、田原和典、藤野順子、畑中政博、五十嵐昭宏、池田 均：腐食性食道炎後の二次性食道狭窄に対する外科治療. 小児外科 42:1313-1317, 2010

#### 「著書・その他」

- 1) 池田 均：ストーマ・排泄管理の歴史. 「小児創傷・オストミー・失禁管理の実際」(溝上祐子、池田 均、編集)、照林社、pp7-10, 2010
- 2) 池田 均：日本の小児ストーマの現状. 「小児創傷・オストミー・失禁管理の実際」(溝上祐子、池田 均、編集)、照林社、pp11-14, 2010
- 3) 池田 均：「暮しと健康：健康相談室、そけいヘルニア」、保健同人社、pp79、2010.11月号
- 4) 池田 均：Douglas 窩穿刺法. 「小児科臨床ピクシス 21:小児外来で役立つ外科的処置」、中山書店、pp164-165, 2010
- 5) 池田 均：腎芽腫に対する腎温存手術. 「第26回日本小児がん学会学術集会・教育セッションテキスト」、pp54-57, 2010

### 2. 学会・研究会への参加

#### 「口演発表」

- 1) 池田 均：神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療の開発研究. 平成21年度厚生労働科学研究がん臨床研究成果発表会

(研究者向け)、2010. 2. 5、東京

- 2) 石丸由紀、田原和典、藤野順子、鈴木 信、池田 均：小児慢性便秘に対するコロネル細粒®の効果. 第 40 回日本小児消化管機能研究会、2010. 2. 20、山梨
- 3) 土岐文彰、高橋 篤、桑野博行、塚田昌大、金澤 崇、荒川浩一、池田 均：残存腫瘍が nephrogenic rest と診断された両側 Wilms 腫瘍の 1 例. 第 20 回群馬小児がん研究会、2010. 2. 26、前橋
- 4) 鈴木 信、藤野順子、田原和典、石丸由紀、池田 均：先天性色素細胞性母斑(congenital melanocytic naevi, CMN)に発症した進行悪性黒色腫の 1 例. 第 20 回群馬小児がん研究会、2010. 2. 26、前橋
- 5) 石丸由紀、藤野順子、鈴木 信、田原和典、池田 均：先天性色素細胞性母斑(congenital melanocytic naevi)に発症した進行悪性黒色腫の 1 例. 2009 年度関東甲信越地区小児がん登録研究会プログラム、2010. 3. 20、東京
- 6) 古川博子、白崎真由美、本泉宏美、湯村達也、山浦由美子、小山田幸枝、宮平美代子、多田則子：ヒルシュスプルング病にて人工肛門を造設した双胎児の在宅支援について. 第 24 回日本小児ストーマ・排泄管理研究会、2010. 4. 24、さいたま市
- 7) Tahara K, Hatanaka M, Fujino J, Suzuki M, Ishimaru Y, Ikeda H.Exploration by conventional open surgery dose reveal morphological abnormalities of the pancreaticobiliary junction in congenital biliary dilatation in children. The 43rd Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric Surgeons. 2010.5.23-27, Kobe, Japan
- 8) 畑中政博、大竹紗弥香、山本英輝、西 明、黒岩 実、鈴木則夫：小網異常裂孔による内ヘルニアをきたした絞扼性イレウスの一例. 第 24 回日本小児救急医学会、2010. 5. 28-29、京都
- 9) 藤野順子、池田 均、田原和典、鈴木 信：腸管出血性大腸菌感染による溶血性尿毒症症候群(HUS)後の結腸狭窄の 1 例. 第 24 回日本小児救急医学会、2010. 5. 28-29、京都
- 10) 五十嵐昭宏、宮本健志、坪井龍生、鈴木 宏、平尾準一、有阪 治、水田耕一：交換輸血と免疫グロブリン療法で救命し得た劇症肝不全を呈した新生児ヘモクロマトーシスの一例. 第 24 回日本小児救急医学会、2010. 5. 28-29、京都
- 11) 玉一博之、水野 恵、遠藤 周、斎藤美香、李 翼、新妻隆広、木下恵司、池田 均：異なる主訴で新生児期に発症した Hirschsprung 病の一卵性双生児. 第 140 回日本小児科学会埼玉地方会、2010. 5. 30、さいたま市
- 12) 藤野順子、池田 均：好酸球性食道炎の内視鏡所見と組織所見：GERD との鑑別について. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「小児好酸球

性食道炎の患者全体像の把握と診断・治療指針の確立に関する研究」(山田班) 第一回  
班会議、2010. 6. 3、東京

- 13) Suzuki M, Hatanaka M, Fujino J, Tahara K, Ishimaru Y, Ikeda H. Instrumental breakage as an important complication in laparoscopic surgery. The 19th Annual Congress of the International Pediatric Endosurgery Group (IPEG). June 8-12, 2010, Waikoloa, Hawaii
- 14) 藤野順子、鈴木 信、石丸由紀、田原和典、池田 均：救急疾患としての異物誤飲：  
地域救急医療における小児外科医の役割。第 47 回日本小児外科学会学術集会、  
2010. 6. 17-19、名古屋
- 15) 石丸由紀、藤野順子、鈴木 信、田原和典、池田 均：先天性色素細胞性母斑 (congenital melanocytic naevi, CMN) に発症した進行悪性黒色腫の 1 例。第 47 回日本小児外科学  
会学術集会、2010. 6. 17-19、名古屋
- 16) 田原和典、藤野順子、鈴木 信、石丸由紀、池田 均：新生児特発性直腸穿孔の検討。  
第 47 回日本小児外科学会学術集会、2010. 6. 17-19、名古屋
- 17) 鈴木 信、畑中政博、藤野順子、田原和典、石丸由紀、池田 均：腐食性食道瘢痕狭  
窄に対する食道全摘・有形空腸間置再建。第 47 回日本小児外科学会学術集会、  
2010. 6. 17-19、名古屋
- 18) 畑中政博、大竹紗弥香、山本英輝、西 明、黒岩 実、鈴木則夫：外鼠径ヘルニアに  
おける術後水腫再発例の検討。第 47 回日本小児外科学会学術集会、2010. 6. 17-19、名  
古屋
- 19) 畑中政博、大竹紗弥香、山本英輝、西 明、黒岩 実、鈴木則夫：鼠径ヘルニア術後  
の水腫発症について。第 9 回小児鼠径ヘルニア腹腔鏡下手術研究会、2010. 6. 17、名古  
屋
- 20) 鈴木 信、畑中政博、藤野順子、田原和典、石丸由紀、池田 均：多発造骨性腫瘍の 1  
乳児例。第 46 回日本小児放射線学会、2010. 6. 25-26、宇都宮
- 21) 鈴木 信、五十嵐昭宏、畑中政博、藤野順子、田原和典、石丸由紀、池田 均：単一  
巨大尿管異所開口に対する腎尿管摘除後に反復性精巣上体炎を呈する乳児例。第 19 回  
日本小児泌尿器科学会総会、2010. 6. 30-7. 2、札幌
- 22) 藤野順子、五十嵐昭宏、畑中政博、鈴木 信、石丸由紀、田原和典、池田 均：GER 症  
例に対する内視鏡検査と組織診の重要性。第 37 回日本小児内視鏡研究会、2010. 7. 3、  
東京
- 23) 鈴木 信、畑中政博、藤野順子、田原和典、石丸由紀、池田 均：多発造骨性腫瘍の 1  
乳児例。第 21 回群馬小児がん研究会、2010. 8. 20、前橋
- 24) 田原和典、五十嵐昭宏、畑中政博、藤野順子、鈴木 信、石丸由紀、池田 均：重複

胆管と嚢胞型胆道拡張症の関連について. 第 33 回日本膵・胆管流異常研究会、2010. 9. 11、名古屋

- 25) 五十嵐昭宏、畑中政博、藤野順子、鈴木 信、田原和典、石丸由紀、池田 均：腋窩原発 fibrous hamartoma of infancy の 1 例. 第 45 回日本小児外科学会関東甲信越地方会、2010. 10. 9、東京
- 26) 畑中政博、五十嵐昭宏、藤野順子、石丸由紀、鈴木 信、田原和典、池田 均：巨大リンパ管腫に対する舌部分切除術の経験. 第 30 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会、2010. 10. 18-19、横浜
- 27) 鈴木 信、五十嵐昭宏、畑中政博、藤野順子、田原和典、石丸由紀、池田 均：小児外科における鏡視下手術習得の工夫. 第 23 回日本内視鏡外科学会総会、2010. 10. 18-20、横浜
- 28) 石丸由紀、五十嵐昭宏、畑中政博、藤野順子、鈴木 信、田原和典、池田 均：重症心身障害児（者）における手術と合併症：その特徴と対応の留意点について. 第 26 回日本小児外科学会秋季シンポジウム、2010. 11. 20、横浜
- 29) 鈴木 信：ラット小腸移植モデルを用いた意識下消化管運動の変化および消化管運動関連因子の検討. 平成 21 年度「獨協医科大学研究助成金・奨励賞」及び平成 20 年度「関湊賞」受賞者による研究成果発表会、2010. 12. 4、壬生
- 30) 藤野順子、石丸由紀、池田 均：小児 GERD 症例の診断と治療. 第 38 回獨協医学会、2010. 12. 4、壬生
- 31) 石丸由紀、五十嵐昭宏、畑中政博、藤野順子、鈴木 信、田原和典、池田 均：胸郭低形成を伴った臍帯ヘルニアの 1 例. 第 107 回東京小児外科研究会、2010. 12. 7、東京
- 32) 石丸由紀、五十嵐昭宏、畑中政博、藤野順子、鈴木 信、田原和典、池田 均：肺転移再発後に再々発を来した、StageI 腎芽腫 (favorable histology) の 1 例. 第 26 回日本小児がん学会学術集会、2010. 12. 17-19、大阪

### 「症例提示」

- 1) 田原和典：急性腹症の 1 例. 第 23 回関東小児外科症例検討会、2009. 3. 23、東京

### 「座長・当番幹事」

- 1) 池田 均：平成 21 年度厚生労働科学研究がん臨床研究事業・研究成果発表会（一般向け）、パネルディスカッション総合司会、2010. 2. 13、東京
- 2) 石丸由紀：「ポスターセッション I」座長、第 40 回日本小児消化管機能研究会、2010. 2. 20、



山梨

- 3) 池田 均：第 15 回日本小児ストーマ・排泄管理セミナー開催（学術委員長、日本小児ストーマ・排泄管理研究会）、2010. 4. 22-23、さいたま市
- 4) 池田 均：ポスターシンポジウム「小児外科基礎研究（腫瘍関連）」司会、第 47 回日本小児外科学会学術集会、2010. 6. 17-19、名古屋
- 5) 池田 均：特別講演 I 「先天性横隔膜ヘルニア：超音波画像からみた肺動脈のサイズと予後」司会、第 46 回日本小児放射線学会、2010. 6. 25-26、宇都宮
- 6) 池田 均：第 37 回日本小児内視鏡研究会当番世話人、2010. 7. 3、東京
- 7) 池田 均：一般演題（示説・口演）「卵巣のう腫・リンパ管腫」座長、第 46 回日本周産期・新生児医学会学術集会、2010. 7. 12、神戸
- 8) 石丸由紀：「腹部：重複症」座長、第 45 回日本小児外科学会関東甲信越地方会、2010. 10. 9、東京
- 9) 池田 均：「一般演題 - 1」座長、第 30 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会、2010. 10. 18、東京
- 10) 池田 均：「教育セッション」座長、第 26 回日本小児がん学会学術集会、2010. 12. 17-19、大阪

### 3. 研究助成等

- 1) 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業、「神経芽腫における標準治療の確立と新規治療の開発に関する研究」、19,880,000 円（研究代表者、池田 均）
- 2) 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業、「小児好酸球性食道炎の患者全体像の把握と診断・治療指針の確立に関する研究」、700,000 円（研究分担者、池田 均）
- 3) 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業、「小児がんの罹患数把握および晩期合併症・二次がんの実態把握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究」、300,000 円（研究分担者、池田 均）
- 4) 平成 22 年度文部科学省科学研究費補助金（基盤研究 A）、「ips 細胞技術を用いた腫瘍幹細胞のリプログラミングによる小児難治性肉腫の治療開発」、200,000 円（研究分担者、池田 均）

### 4. 受賞

該当なし

## 5. 学位

該当なし

## V 教育関連の活動

### 1. 学生実習

医学部5年生を対象とした bedside learning (BSL) を担当した。朝8時30分のミーティングから診療終了時刻まで学生は担当医とともに過ごした。病歴聴取、診察、検査、手術(術前準備から術後管理まで)、診療記録の記載などの実際を指導した。学生は可能な限り緊急手術にも立ち会い、外来診療、回診、カンファレンス、症例検討会などを通じ小児外科疾患の病態、診断、治療に関する基本的知識が得られるよう、さらにチーム医療の実際を体験できるよう配慮した。学生には個別にテーマを与え、学習した内容を短時間でプレゼンテーションする機会を与えた。

### 2. 卒後臨床研修

2010年度は初期臨床研修科目として小児外科を選択した研修医がいなかった。

### 3. 講演・講義

- 1) 池田 均：「ストーマ・排泄管理の歴史と日本の小児領域における現状」、第15回日本小児ストーマ・排泄管理セミナー、2010.4.22-23、さいたま市
- 2) 池田 均：「小児がんの基礎と臨床」、群馬大学医学部講義(6年生)、2010.9.3、前橋
- 3) 池田 均：「腎芽腫に対する腎温存手術」、教育セッション、第26回日本小児がん学会学術集会、2010.12.17、大阪

### 4. セミナーの開催

- 1) 第37回 小児外科・周産期外科セミナー  
講師：獨協医科大学第一外科教授、加藤広行先生  
演題：「食道がん診療の最先端 - 今までとこれから -」  
2010.2.5、獨協医科大学越谷病院・第4会議室
- 2) 第38回 小児外科・周産期外科セミナー  
講師：獨協医科大学越谷病院准教授、宋 成浩先生

演題：「3次元モデルによる手術シミュレーションと腎尿路形成手術への応用」  
2010.7.16、獨協医科大学越谷病院・第3会議室

## 5. 小児外科・病理カンファレンス

- 1) 第24回小児外科・病理カンファレンス、2010.3.19
  - (1) 4歳、男児、結腸狭窄
  - (2) 14歳、女児、卵巣奇形腫
  - (3) 15歳、女児、Hodgkinリンパ腫
  - (4) 3歳、男児、甲状舌管嚢胞
  - (5) 1歳、男児、腎盂尿管移行部狭窄
  - (6) 25日、女児、副腎神経芽腫
  - (7) 6日、男児、ヒルシュスプルング病
  - (8) 1ヵ月、男児、ヒルシュスプルング病
  - (9) 12歳、男児、虫垂カルチノイド腫瘍
- 2) 第25回小児外科・病理カンファレンス、2010.10.8
  - (1) 5ヵ月、男児、胸壁間葉性過誤腫
  - (2) 8歳、男児、副腎神経節腫
  - (3) 12歳、女児、卵巣嚢胞
  - (4) 3歳、女児、腎ラブドイド腫瘍
  - (5) 13歳、男児、リンパ管腫
  - (6) 12日、男児、仙尾部奇形腫
  - (7) 11歳、男児、後腹膜リンパ管腫
  - (8) 10歳、男児、脂肪腫
  - (9) 6ヵ月、男児、ヒルシュスプルング病
  - (10) 6ヵ月、男児、ヒルシュスプルング病

## 6. 抄読会

2010年は40回(抄読論文数72)の抄読会を行った。

## 7. リサーチ・ミーティング

毎月1回、リサーチ・ミーティングを開催し、学位取得予定者による研究内容のプレゼンテーションが行われた。

## VI その他

- 1) 田原和典：医療者のつぶやき：湿潤療法のすすめ．獨協医科大学学内だより、No. 428、pp12、2010. 3 月号
- 2) 池田 均：平成 19-21 年度厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業「神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究」班、小児がん診療施設現状調査のアンケート報告書・序文、2010. 3 月
- 3) 池田 均：特別寄稿：故松山四郎先生追悼、「松山四郎先生：お別れに際して」、群馬大学第一外科同門会報、第 38 号、pp23-24、2010. 6 月
- 4) 鈴木 信：近況報告、群馬大学第一外科同門会報、第 38 号、pp139-143、2010. 6 月

付.

1. 第15回 日本小児ストーマ・排泄管理セミナー 開催要項

2. 第37回 日本小児内視鏡研究会 プログラム・抄録集





# 第15回 日本小児ストーマ・排泄管理セミナー

会 期：平成22年4月22日（木）・23日（金）

会 場：埼玉会館（〒330-8518 さいたま市浦和区高砂 3-1-4）

内 容：小児（低出生体重児を含む）のストーマ管理、排泄障害とそのケア、  
創傷管理、スキントラブル対策、関連する社会保障制度など、症例  
検討を含め臨床現場ですぐに役立つ最新の知識と技術

参加資格：①日本小児ストーマ・排泄管理研究会会員（当日入会可）

②小児医療（診療・看護）に関与している医師・看護師・助産師・保健師など

参加費用：15,000円（テキスト代別）

申込方法：氏名（フリガナ）、勤務先、職種、連絡先の住所・電話番号を明記し、  
往復はがき（返信面に宛先を記入）またはE-mailで事務局あてに  
お申し込みください。1週間以内に返信がない場合には、直接、事務局  
にお問い合わせください。

申込締切：平成22年3月31日（水）

事 務 局：日本小児ストーマ・排泄管理セミナー事務局

〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学越谷病院小児外科

担当：（小児外科）石丸由紀、長嶋美輝（看護部）小山田幸枝

TEL：048-965-8594 FAX：048-965-1134

E-mail：stseminar@dokkyomed.ac.jp

URL：[http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/ped\\_surg/gakkai/stseminar15.html](http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/ped_surg/gakkai/stseminar15.html)

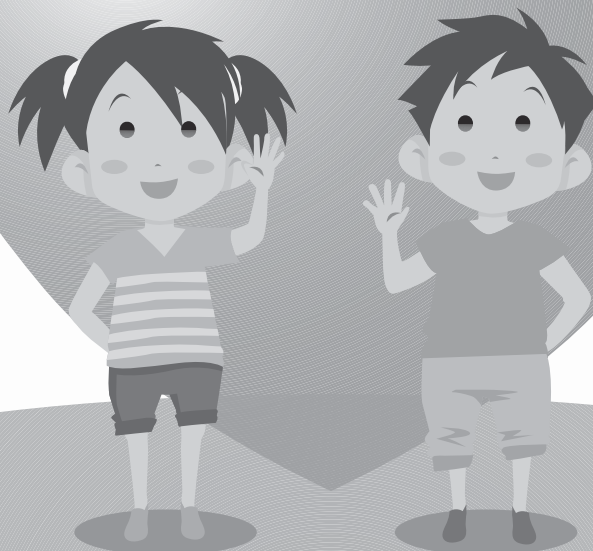




# 第37回 日本小児内視鏡研究会 プログラム・抄録集

2010年7月3日(土)

キャンパス・イノベーションセンター東京 国際会議室



当番世話人 池田 均 (獨協医科大学越谷病院 小児外科)

---

# 第37回日本小児内視鏡研究会

## プログラム・抄録集

---

会期:2010年7月3日(土) 9時15分~16時30分

会場:キャンパス・イノベーションセンター東京 国際会議室

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6

TEL 03-5440-9020



- JR 山手線・京浜東北線 田町駅下車・・・芝浦口(東口)より徒歩1分
- 都営三田線・浅草線 三田駅下車・・・A4 出口より徒歩5分

### 第37回日本小児内視鏡研究会事務局



〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学越谷病院 小児外科 担当 藤野 順子

TEL 048-965-8594 FAX 048-965-1134

E-mail: pedendsc@dokkyomed.ac.jp

[http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/ped\\_surg/gakkai/pedendsc37.html](http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/ped_surg/gakkai/pedendsc37.html)

---

# 第 37 回日本小児内視鏡研究会の 開催にあたって

---



当番世話人

池田 均 (獨協医科大学越谷病院 小児外科)

このたび、第 37 回日本小児内視鏡研究会の開催を担当させていただくことになりました。ご指名いただきました会員の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、本研究会は今回が第 37 回目を数える、長い伝統を有する研究会です。またその会員構成は、小児科医、小児外科医、消化器内科医、消化器外科医など小児領域の研究会としては比較的ユニークな研究会でもあります。小児医療に携わる先輩諸先生方が内視鏡に関する最先端の知識や技術を成人領域から積極的に学び取り入れようとされ、現在の研究会に発展したものと理解しております。

近年、内視鏡は、診断に限ってもカプセル内視鏡、ダブルバルーン内視鏡、拡大内視鏡、画像強調観察など、成人領域において著しい進歩がみられます。小児では通常、がんを早期に発見しなければならないというような状況がありませんので、そのような意味での技術習得をせまられることがないのは幸いといえます。しかしながら、小児においても内視鏡は診断、治療の両面において、極めて重要かつ基本的な技術であることは言うまでもなく、日常診療において聴診器や超音波検査と同様に、内視鏡を使いこなすことが求められます。

本研究会では、各々の施設において、小児の内視鏡をどのように工夫しながら臨床応用し、どのような結果を得ているのか、また成人に比べ必要となる頻度の少ない内視鏡の技術や教育をどのように維持されているのか等々についてご発表いただき、活発に討論していただこうと思っております。

特別講演では長年、国際的な立場で消化器病ならびに内視鏡医療の進歩に貢献されてこられた獨協医科大学越谷病院消化器内科の桑山 肇教授に「GERD up-to-date」と題して、ご講演をいただきます。小児の GERD 診療の参考になる、貴重なお話をいただけるものと思っております。

今回の研究会は教室員の手作りで準備させていただきました。不行き届きで至らぬところも多々あるかと思いますが、ご参加の皆様には有意義な学究の一日を過ごしていただけるよう願っております。会員皆様の多数のご参加をお待ちし、当日の活発なご討論を心よりお願いする次第です。

---

---

## 研究会参加者の皆様へ

---

---

1. 開場は午前 8 時 30 分です。受付は 8 時 45 分より開始いたします。
2. 研究会参加費 5,000 円を受付にてお支払いの上、参加証兼領収書をお受け取りください。  
なお、クレジットカードによる参加費の支払いは受け付けできません。
3. 会場内での携帯電話、PHS 等の使用は会の進行の妨げとなりますので、電源をお切りいただくか、マナーモードへの切り替えをお願いいたします。
4. 会場入口前のロビーにて、コーヒーと軽食(無料)の用意がございますのでご利用ください。
5. 世話人会を 12 時より会場 2 階 多目的室1にて開催しますので、特別講演終了後にお集まりください。  
なお、昼食の用意がございますので、会場にて昼食代1,000円をお支払いください。

---

---

## 発表者の皆様へ

---

---

1. 発表時間 5 分、討論時間 3 分を予定しております。
2. すべての発表は PowerPoint による PC 発表のみで行います。
3. 会場の PC は WindowsVista (PowerPoint2007) を用意しています。発表データは USB メモリか CD-R に保存してご持参ください。Macintosh をご利用の場合は、必ず Windows 用にデータ変換をお願いします。発表データのファイル名は「(演題番号) (氏名)」としてください。(メディアは、ウイルス定義データを最新のものに更新された状態のセキュリティソフトで、ウイルス感染のないことを確認してください。)
4. 動画は全て PC を用いてご発表いただけます。動画データは初期状態の WindowsMediaPlayer に含まれるコーデックで再生できる動画ファイル(WMV 形式を推奨)でご持参ください。なお、動画については、不都合が生じる可能性がありますので、バックアップ用にご自身の PC もご用意ください。
5. ご自身の PC をご利用となる場合、プロジェクターは VGA 端子(D-sub 15ピン)での接続となりますので、必要な場合はアダプターのご持参をお願いします。
6. 発表データは発表 30 分前までに演者受付に提出してください。
7. 抄録(すべてを含め 400 字以内)は日本小児外科学会雑誌に投稿いたしますので、抄録に変更がある方は研究会終了後 1 週間以内に事務局までメール(pedendsc@ dokkyomed.ac.jp)でお送りください。

※ 発表のためお預かりしたデータは、研究会終了後に責任を持って消去いたします。

---

---

# プログラム

---

---

9:15 ~ 9:20

開会の辞

当番世話人

池田 均

---

9:20 ~ 9:55

上部消化管1

---

座長 信州大学医学部 小児医学講座

中山 佳子

---

1. Vater 乳頭部腫瘍により急性膵炎をきたした家族性大腸腺腫症の1症例  
杏林大学 小児外科 牧野 篤司
2. 小児膵疾患に対する内視鏡的経乳頭的治療の経験  
埼玉県立小児医療センター 小児外科 高澤 慎也
3. 小児IBD症例における上部消化管内視鏡所見の検討  
順天堂大学医学部 小児科 青柳 陽
4. 小腸重積症を合併したPeutz-Jeghers症候群に対するダブルバルーン内視鏡治療の経験  
自治医科大学 小児外科 辻 由貴

9:55 ~ 10:30

上部消化管2

---

座長 九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野

田口 智章

---

5. 内視鏡下切開術を施行した十二指腸膜様狭窄の1例  
国立病院機構 香川小児病院 小児外科 石橋 広樹
6. ステロイド全身投与が奏効した先天性食道狭窄症の一例  
大阪大学 小児成育外科 神山 雅史
7. 肝前性門脈閉塞症による食道静脈瘤破裂を繰り返している1例  
香川大学医学部 小児成育外科 尾山 貴徳

8. 胆道閉鎖症術後食道静脈瘤に対する内視鏡治療の検討

群馬県立小児医療センター 外科 西 明

10:30 ~ 11:10 胃食道逆流症

---

座長 昭和大学 小児外科 土岐 彰

---

9. 再発性 GERD に対して内視鏡的食道憩室切開・腹腔鏡下再噴門形成を施行して軽快した 1 例

九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野 家入 里志

10. 演題取り下げ

11. 中枢神経障害のない小児胃食道内視鏡逆流症の内視鏡所見の検討

神奈川県立こども医療センター 一般外科 武 浩志

12. 胃食道逆流症における食道内視鏡検査の意義

東京大学 小児外科 小高 哲郎

13. GER 症例に対する内視鏡検査と組織診の重要性

獨協医科大学越谷病院 小児外科 藤野 順子

11:10 ~ 12:00 特別講演:

---

**GERD up-to-date**

演 者: 桑山 肇 先生 (獨協医科大学越谷病院 消化器内科 教授)

司 会: 池田 均 (獨協医科大学越谷病院 小児外科)

12:00 ~ 13:00 世話人会および昼休憩

---

世話人会: キャンパス・イノベーションセンター東京 2 階 多目的室

13:00 ~ 13:35 呼吸器

---

座長 国立成育医療研究センター病院 呼吸器科 川崎 一輝

---

14. 気管上部の限局性気管狭窄の2例

国立成育医療研究センター病院 呼吸器科 加藤 智治

15. 手術を回避できた喉頭気管分離術後気管腕頭動脈瘻の一例

聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 小児外科 佐藤 英章

16. 先天性気管狭窄症の周術期におけるベッドサイド気管支ファイバースコープ検査の重要性

兵庫県立こども病院 小児外科 岡本 光正

17. 当教室における小児呼吸器疾患に対する気管支ファイバー検査症例の検討

大阪大学 小児成育外科 白井 規朗

13:35 ~ 14:10 鏡視下手術・内視鏡研修

---

座長 東京大学 小児外科 岩中 督

---

18. 当科における胸腔鏡下肺葉切除の経験

順天堂大学医学部 小児外科 古賀 寛之

19. 小児に対するNOTES/Endolumenal surgeryの可能性に関する検討

—成人例および前臨床試験の経験から—

九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野 家入 里志

20. やさしい大腸内視鏡検査トレーニング法

昭和伊南総合病院 消化器病センター 堀内 朗

21. 小児消化器内視鏡研修—駒ヶ根プログラム—第3報

信州大学医学部 小児医学講座 中山 佳子

14:10 ~ 14:45 下部消化管1

---

座長 順天堂大学 小児科 清水 俊明

---

22. 難治性食物アレルギーの1例

名古屋市立大学病院 小児・移植外科 佐藤 陽子

23. 腸管機能不全患児における消化管出血

兵庫県立こども病院 外科 荒井 洋志

24. 血便患児で超音波検査と下部消化管内視鏡検査を施行しえた127例

大阪医科大学 小児科 余田 篤

25. 小児大腸内視鏡検査の前処置についての検討

埼玉県立小児医療センター 総合診療科 岩間 達

14:45 ~ 15:00 休憩(コーヒースタイル)

---

15:00 ~ 15:35 下部消化管2

---

座長 大阪医科大学 小児科 余田 篤

---

26. 消化管病変を伴う慢性肉芽腫症の一例

長崎大学 小児外科 望月 響子

27. アフタ性大腸炎から潰瘍性大腸炎への移行が疑われた1例

安城更生病院 消化器内科 竹内 真実子

28. Acute phase ulcerative colitis の内視鏡像と考えられた一例

信州大学医学部 小児医学講座 草刈 麻衣

29. 家族歴を有する炎症性腸疾患小児例

埼玉医科大学 小児外科 大野 康治



15:35 ~ 16:15 下部消化管3

---

座長 名古屋市立大学病院 小児・移植外科 鈴木 達也

---

30. 結腸結腸型腸重積にて発症した乳児の若年性ポリープの一例

長岡赤十字病院 小児科 磯部 賢論

31. 当院における大腸若年性ポリープの検討

昭和大学病院 小児外科診療グループ 中山 智理

32. 当科における14年間の下部消化管内視鏡的ポリープ切除術についての検討

獨協医科大学病院 第一外科 岡本 健太郎

33. 巨大結腸中毒症を発症した慢性便秘症の治療経過—大腸内視鏡所見より

自治医科大学 小児外科 田附 裕子

34. 膀胱鏡下に直腸偽尿道瘻を同定し修復しえた1例

国立成育医療研究センター 外科 松田 諭

16:15 ~ 16:30 閉会の辞

当番世話人 池田 均

---

次期当番世話人挨拶

## 編集後記

本冊子の編集集中に東日本一帯が大震災に見舞われた。東北関東大地震は巨大津波を引き起こし、災害はコンビナートの火災や原発事故へと連鎖した。瞬く間に想像を絶する数多くの命が奪われ、原子力発電所は爆発、火災を繰り返し、放射能漏れと拡散はどう収束するのかさえも不明な状態である。

一方、わが精神は地震直後の興奮が尾を引く間もなく、社会全体の抑鬱に飲み込まれ、その活動はほぼ停留状態にある。予定されていた会合や研究会はすべて中止、延期となり、社会や人々の営みも計画停電とともに沈滞を余儀なくされている。

抵抗し得ない自然の反逆に人の英知はどのように折り合いをつけるというのだろうか。過去の敗戦にも匹敵するような歴史的危機を日本人はいかに回避することができるのだろうか。日本沈没とも言える未曾有の危機を克服し、再生、復興にいたることをただただ祈るばかりである。

(平成 23 年 3 月 17 日、池田)

(災害により亡くなられた多くの方々のご冥福を祈り、被災された方々の回復および被災地の一日も早い復興を心より願います。尚、本震災は後日、東日本大震災と呼称されました。)



獨協医科大学越谷病院小児外科のあゆみ 2010 年

---

平成 23 年 3 月 31 日発行

編集・発行 獨協医科大学越谷病院小児外科  
〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷 2-1-50  
TEL 048-965-8594

印刷所 (株)松井ピ・テ・オ・印刷  
TEL 028-662-2511(代)

---

